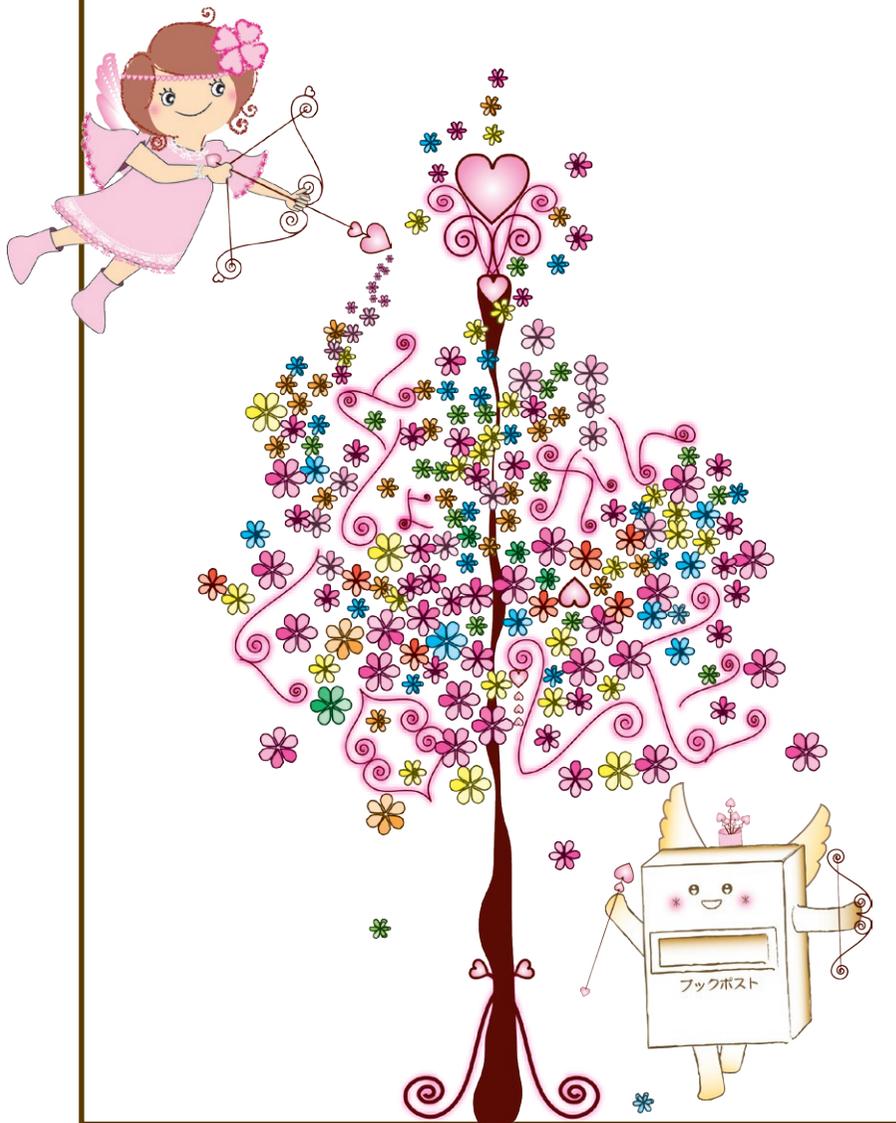


PECCO

MARCH Vol.18 2012.3





番外編 ポストの快刀乱麻

イベント情報

3月、4月は、別れと出会いの季節。
 岩手を離れるけれど、県立図書館の情報が知りたい、
 これから利用を考えているので、イベント情報を知りたいなあ・・・。
 そんな方に、県立図書館が発信しているツールを紹介します。

1 イベントカレンダー



各コーナーミニ展示や企画展を含めたイベント情報を、1ヶ月のカレンダー形式で掲載しています。これを手に館内を歩けば、新たな本との出会いがあるかも。館内のほか、アイーナ1・3階にも置いてあります。

3 メールマガジン

毎月 20日

内容は翌月のイベント情報を中心に、本の紹介や職員のコラムなど。パソコン用2種類(一般用/子ども用)と携帯電話用があります。メールアドレスを登録すると、毎月20日頃、自動的に送信されるので便利です。



早く20日が来ないかなあ♪

登録は、
[トップページ](#) ▶ [ご利用申請](#) ▶ [メールマガジン](#)
 で受付けています。

2 広報誌「PECCO(ぺっこ)」



年4回(5・8・11・2月)の発行で、館内の話題や本の紹介のほか、企画展と定期的なイベント情報を掲載しています。県立図書館についてぺっこ詳しくなれるかも♪館内のほか、県内図書館にも送付していますので、お近くの図書館でもご覧いただけます。

※ぺっこ：岩手の方言で「少し」の意味

4 岩手県立図書館ホームページ

ホームページでも随時イベント情報を掲載しています。広報誌「PECCO」とメールマガジンのバックナンバーや、企画展の目録(展示終了後)も見られます。こまめにご覧いただくことをオススメします。

[トップページ](#) ▶ [お知らせ・行事案内](#)



1 3階図書館入り口

2 ツイッター (@iwate_pref_lib)

1 県立図書館主催のイベントポスターやチラシがあって、大きなイベントカレンダーも掲示してるよ！
 来館したらここをチェック♪

2 毎日の開館状況を中心に、展示やイベント情報をそめちゃんがつぶやきます。来館前にチェックすれば図書館通！



twitter

県立図書館スタッフ
 お・す・す・めの本

Everyday Harumi 596
 クリ
 栗原 はるみ 著/扶桑社 出版

家族や友人、恋人など大切な人のために作りたい。
 おいしくて、どこかほっとするようなものを作りたい。栗原はるみが、皆さんのそんな願いを叶えてくれる1冊です。

せつない恋の猫物語

人は恋をします。そして、動物も、街中にいる猫たちも、人と同じように恋をしているかもかもしれません。会いたいのに、会えない……。そんなせつない思いが綴られたハートブレイクストーリーです。

748
 アン 安藤 菜穂子・広田 敦子 写真
 大和書房 出版

イベント案内

映画会	子ども		一般向け		休館日	
	11:00 ~ (日曜日)	14:00 ~ (日・月曜日)	11・12日 (13:30~)		3月	4月
3月	11日				24日(土)~31日(土)	
4月	8日・22日		8・9日/22・23日		27日(金)	
5月	13日・27日		13・14日/27・28日		26日(土)・31日(木)	

おはなし会

	おはなし☆すてーしょん 14:00 ~ (日曜日)	手づくりかみしばい 14:30 ~ (土曜日)	ファミリーおはなし会 14:30 ~ (日曜日)
3月	4日・18日	10日	20日(火・祝)
4月	1日・15日	14日	22日
5月	6日・20日	12日	27日

(※おはなし会の日時は変更する場合がございます。詳しくはスタッフまで。)

~図書館♪さんぽ~
コンジエルジュ
 ガイドツアー

毎月第1日曜と第4日曜の11時30分に
 図書館3階入口にお越し下さい。
 コンジエルジュがはりきってお待ちしております♪

- ★ 検索機の使い方をくわしく知りたい
- ★ インターネット端末の予約を試みたい
- ★ 図書館の裏側を見たい
- ★ 誕生日の新聞を読みたい などなど

できるかぎりリクエストにお応えしてご案内いたします！

企画展
 いわての歴史シリーズⅣ
いわてに生きる① 海とともに
 期間：2月10日(金)~4月15日(日)
 (3/24~31は休館)
 会場：4階展示コーナー

当館所蔵古文書等の資料は、岩手の自然とともに生きてきた人々の証であり、岩手県民共有の貴重な財産です。その中から、「海」に関する資料を集めて展示し、海に寄り添い生きてきた岩手の人々の姿を紹介します。

2011
12月

2012
1月

おすすめ郷土資料



森の食卓

たいまぐらのレシピ帖

安倍 智穂 文・写真
まちの編集室 出版

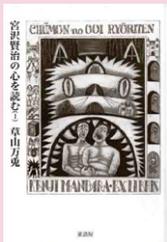
岩手県宮古市(旧川井村)
早池峰の麓、たいまぐらでの
暮らしを楽しむ著者の
オリジナルレシピとエッセイ集。
『盛岡の喫茶店』『北の服』に
続く「てくりbooklet」第3弾。



宮沢賢治の心を読む1

草山 万兎 著
童話屋 出版

サル学の世界的権威である
著者が、難解な賢治のコトバを
わかりやすく解説。
「雪渡り」「なめとこ山の熊」
「注文の多い料理店」
「ゼロ弾きのゴージュ」の
4作品をとりあげ、そこに
こめられた賢治の心に迫ります。



佐藤昌介とその時代

佐藤 昌彦 著
北海道大学文学部 編
北海道大学出版会 出版
札幌農学校一期生であった、
佐藤昌介の生涯を追いました。
クラークの教え、キリスト教
信仰、米国留学経験のほか、
郷友・原敬や学友・高田早苗
との友情を糧に、邁進した
様子が描かれています。

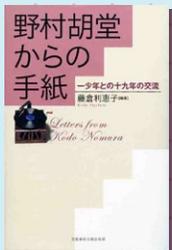


野村胡堂からの手紙

一少年との十九年の交流

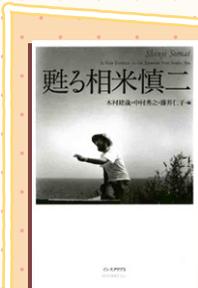
藤倉 利恵子 編著
文藝春秋企画出版部

“あらえびす”の名で
レコード音楽評論の先駆け
として活躍した野村胡堂。
音楽の道を志す一少年へ
送った手紙とともに、
少年との19年間の交流が
描かれています。



甦る相米慎二

木村 建哉 / 中村秀之 /
藤井仁子 編
インスクリプト 出版
80~90年代の日本映画界を
疾走し、多くの観客に深甚な
感化を与えた岩手県出身の
映画監督・相米慎二。
13作にわたる相米映画の原点、
軌跡、未来、そのすべてを収める
相米慎二論の決定版。



存在しなかった男

大村 友貴美 著
角川書店 出版

合コンで知り合った男と
スピード婚を果たした奈々。
だがハネムーンからの帰国便の
飛行機で目を覚ましたとき、
隣席から彼の姿は消えていた…。
岩手県出身の著者が描く
ミステリー小説です。

